

# シバザクラを活用した棚田法面の保安全管理の省力化と活性化

山口県周南市

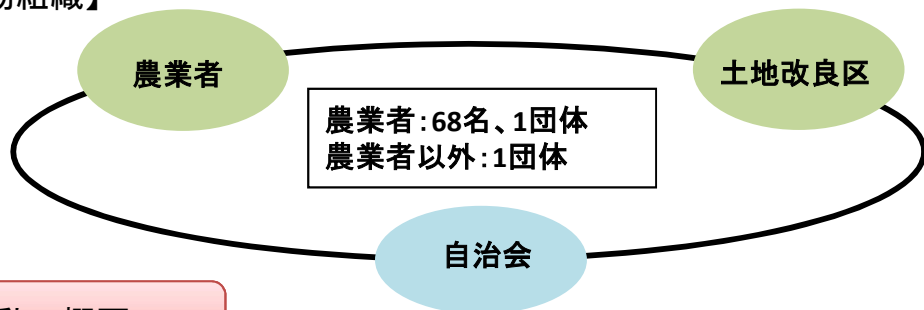
やまぐちけんしゅうなんし

こうどうかんきょうほぜんかい

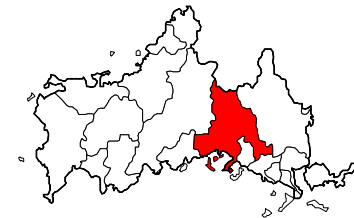
山口県周南市

向道環境保全会

## 【活動組織】



○キーワード  
中山間地域  
(保安全管理の省力化)



## 【地区概要】

取組:農地維持支払、資源向上支払(共同・長寿命化)  
協定農用地:田19.5ha、畑0.5ha、草地1ha  
資源量:開水路 11.8km、パイプライン 0.1km、  
農道 4.0km、ため池 1箇所

## 活動の概要

- 棚田の法面は、高いところで9mもあり、急な傾斜面での草刈りは高齢者にとって危険かつ重労働。
  - 棚田の法面の草刈り作業を軽減するため、平成20年から3年計画で、シバザクラの植栽を実施。
  - シバザクラの植栽は、作業に多くの時間と労力を要することから、都市部からのボランティアを募って実施。
  - シバザクラ植栽のデザインは、市内にあるデザイン専門学校の学生たちがアイデアを結集して考案。若者たちの発想を受け入れて、更なる活性化と飛躍につなげている。
- (市内の八代盆地にシベリアから飛来するナベヅル(国の特別天然記念物)をモチーフにデザイン)



植栽デザイン選考会



シバザクラの植栽



ナベヅルをモチーフにしたデザイン

## 取組の効果

- 法面の植栽により、草刈り等、維持管理労力が低減。
- 少子高齢化が進む山あいの187世帯、人口約400人、高齢化率51%の集落に、シバザクラ開花時期は、毎年多くの観光客で賑わっている。  
《観光客数 H23 約2万人 → H28 約5万人》
- 本取組を契機に、地元の主婦16名による農産物加工グループ「ほたる工房」も設立され、地域振興が図られている。



開花期の来訪者



「ほたる工房」の皆さん



○ シバザクラが都市住民との交流の場、憩いの場、癒しの場、農産物販売のPRの場など、地域活性化の起爆剤となった活動組織。